

# 平成30年度・事業計画

社会福祉法人 恵和

# 恵和

## 創立者の想い

「今日も元気で世のため人のために頑張ろうや」

恵和は、昭和29年に前田直蔵が設立した。

隣人を自分と同じように愛し、一人ひとりがあるがままに受け入れ、その幸せを願うというキリスト教の精神を基本にして、地域社会と利用者に貢献することを使命とした。

## 1. 理念

「支える、つなぐ、叶える」

私たちは、障害のある人とその家族の為に、

どんな障害にも向き合う姿勢を通じて、

希望や願いを実現します。

## 2. 目指す職員像

- (1) 明るく元気で前向きな人
- (2) 相手を思いやり行動できる人

## 3. 職員行動基準

- |            |                        |
|------------|------------------------|
| (1) 挨拶     | 優しい声と笑顔で挨拶します          |
| (2) 安全     | 気づきます、すぐに確認、行動します      |
| (3) 支援     | なぜだろうと想像し、寄り添う気持で支援します |
| (4) チームワーク | 声をかけあって、報告・連絡・相談を行います  |

## 平成30年度・社会福祉法人恵和 事業計画

### 今年度の主な課題

#### 1. 新理念の浸透

- (1) 周知の具体的取組（ポスター、印刷物、ステッカー、広報等）
- (2) 新職員行動評価表及び昇給審査の導入、実施

#### 2. ホーム、入所施設、通所事業所の展開

- (1) ホーム増設・移転（2ヵ年で4ホーム増設、2ホーム移転）
- (2) 青年寮月の家定員減、短期入所増に向けての調整
- (3) えみ定員増への調整
- (4) 通所事業所毎の機能分化に向けての調整
- (5) 新規通所事業所開設（建設）計画の策定に着手

#### 3. 「家族の意見を聞く会」に寄せられた要望を含む、諸課題への積極的取組

- (1) 新作業種目の開発（各生活介護事業所一種目以上）、日中活動の活性化（日課の見直し、事業所間の連携、職種を越えての協力）
- (2) 終末期の支援体制（ホーム、入所）組立と準備
- (3) 本部敷地環境整備（体育館建設含む）計画の策定に着手
- (4) 法人墓地の取得（平成30年度中）
- (5) 成年後見制度の効果的活用の支援を継続
- (6) ホーム夜勤者2名体制への取り組み開始

#### 4. 人材育成の推進

- (1) 計画した研修の確実な実施
- (2) 個人別研修履歴表の整理、活用

- (3) 全職員が個人研修目標を一点設定、中間期及び実施後の振り返りを習慣化
- (4) 障害者雇用の推進（事業所毎に1名以上、法定雇用率の達成）
- (5) 福利厚生の上昇（年休の計画的付与、休憩室の整備、親睦交流事業の実施）

#### 5. 収支バランスの健全化

- (1) メリハリのある運営（優先順位の設定・必要か・前向きか・緊急か・計画的か・前例踏襲だけになっていないか・代替の方法は有るか・工夫の余地は有るか）
- (2) 拠点区分毎に、経常活動収支差額の黒字化を目指す（赤字の原因分析と対策）
- (3) 会計処理の基本的ルールの再確認と厳守（特に、預かり金・手持ち金・購入、契約手続き）
- (4) 積立金の積み立て（大規模修繕、備品等購入、建設）→ 法人合計で総収入の5%を目標